

12月
23日
(水)

ママが主役！ママの文化祭
(総合体育館)

年に一度のママが主役となるママの文化祭が行われました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、3部制で開催され、ソーシャルディスタンスを保ちながらも多くの人が楽しみました。

第2競技場では親子が元気に体を動かすことができる「親子ふれあい広場」と「こここ広場」が開かれ、未就学

児を育てる多くの親子で大にぎわい。また、当日は小学校の終業式でもあったため、3部では小学生も参加する姿があり、日頃のママの頑張る姿やママの力を実感していました。

コロナ禍の中でもコロナに負けないママたちの力を再認識する文化祭となりました。



春日井
創 想



2021

令和3年(2021) 丑年

令和3年が始まり1か月が過ぎようとしています。新型コロナウイルスという重苦しい雲に覆われています。

約100年前のスペイン風邪は、世界中に広がり感染拡大が終息するまでに、3年かかりました。感染拡大の要因は、大規模な集会やイベントでの

多くの人との接触、人の移動といわれています。そして、対策は今と全く同様に、マスクと手洗いの励行でした。当時と比べると、医療は飛躍的に進歩しており、PCR検査などで診断ができるようになっていますが、有効な治療薬やワクチンの開発に時間がかかっているのは、今も当時と変わりません。

コロナ感染を克服するためには、自分たちのために「今」できること、やるべきことは、誰もが感染し、感染させる可能性があることを強く認識して、密集などの3密を避け、マスクなしでの会話を行わないなど、一人一人の行動にかかっています。

今年には丑年です。「牛の歩みも千里」ということわざがあります。「一歩ずつ努力すれば、困難な目標にたどりつくことができる」という教えです。また、丑年には新しいことが始まった歴史があります。

広報春日井1月1日号に「希望」と揮毫し、今年の一文字は「咲」と書きました。今年、これまで準備してきた多くの事業の花が咲く年で、困難な時でも希望を持って、あらゆることに全力で取り組むことで、未来の春日井のために、色とりどりの花を咲かせる、また、花が咲く年であると想っています。

皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。



「新しい芽を、花を、希望を
未来の春日井のために、
咲かせよう。」